



6287

サトーホールディングス



代表取締役社長 兼CEO
小瀧 龍太郎 氏

～自動認識技術でお客さまの課題を解決～

会社概要

- **数字で見るサトーグループ**
 - ・1940年創業、世界の国・地域に拠点26カ所、90以上のビジネスを誇る(2018年3月末時点)
 - ・可変情報ラベルメーカー世界1位(当社推計)、バーコードプリンタシェア世界2位(市場データ)
 - ・売上高1,134億円(2018年3月期)、従業員数5,076人(2018年3月末時点)
- **成長と進化**
 - ・世界初、ハンドラベラー及びバーコードプリンタを生産 1980年代まではモノづくりが事業の主体
 - ・その後、DCS(Data Collection Systems)&Labeling +Oneを展開し、ソリューション主体のビジネスモデルへシフト
 - ・自社開発・製造したバーコードプリンタやラベル、自社設計したソフトウェアやサービス、外部パートナーから仕入商品等を組み合わせ提供
 - ・ワンストップで製品やサービスを提供

中期経営計画

- **経営目標**
 - ・2017年度(実績) 売上高1,133億円、営業利益率5.5%
 - ・2020年度(目標): 売上高1,350億円、営業利益率9.5%
 - ・2025年度(目標) 売上高2,000億円、営業利益率12%
 - ・海外売上高比率: 2017年度(実績)37.8%⇒2020年度(目標)43.6%
- **営業利益**
 - ・2017年度62億円⇒2025年度に240億円と大幅増
 - ・自動認識ソリューション事業に経営資源を傾け、豊富な機会を確実に収益化して持続的に成長
 - ・IDP(Inline Digital Printing)事業で商業化が見込まれる技術をベースに、同事業は2020年度にブレークイブ、2025年度に50億円の営業利益を見込む
 - ・IDP業とは、レーザー照射によるダイレクト印字ができる革新的印刷技術

自動認識技術、活用事例

- **自動認識ソリューション**
 - ・バーコード、二次元コード、RFID(電波を利用し、非接触で一括データ読み取り)、画像認識、音声認識、位置測位等を用い、情報と物品の一致を実現するための商品・サービスを提供
- **お客さまの市場**
 - ・2017年度国内市場別売上構成比: 製造34.0%、物流26.6%、小売り12.4%、食品10.1%、ヘルスケア12.3%、公共4.6%
- **活用事例**
 - ・製造市場: 製造工程管理やトレーサビリティラベル
 - ・物流市場: 送り状ラベル、不在票
 - ・小売市場: 商品タグ、インバウンド対応
 - ・食品: 食品表示ラベル
 - ・ヘルスケア市場: 検体ラベル、リストバンド
 - ・公共市場: ガスメーター用ラベル、駐車違反ラベル
 - ・アパレル、コンビニ、病院等ではRFIDで業務効率化

需要ニーズ、配当について

- **製品・ソリューションへのニーズ**
 - ・小売り市場: Eコマース等、様々な販売方法への拡張
 - ・製造、物流市場: 人手不足を背景に業務効率化ニーズが拡大、トレーサビリティ投資が旺盛
 - ・製造: 品質担保
 - ・食品、ヘルスケア市場: 食や医療への安心・安全、正確性担保、高齢化や規制への対応
- **配当**
 - ・1株当たりの企業価値を向上させ、安定増配を継続
 - ・配当は2000年度22円、2010年度34円、2017年度65円の実績に対して、2018年度70円予定
- **EPS(一株当たり当期利益)と配当性向**
 - ・2017年度(実績): EPS121.5円、配当性向53.5%
 - ・2018年度(予想): EPS128.0円、配当性向54.7%